

第3回「農水産業支援技術展」 沖縄の開催



【農林水産部】

NO.7

～沖縄における6次産業化の推進及び 農林水産物・食品の輸出に向けた取組について～

第3回「農水産業支援技術展」 沖縄の開催

平成30年5月29日(火)～30日(水)の2日間、沖縄コンベンションセンターで、沖縄の農水産業、食品加工・流通産業及び6次産業化の支援を目的とした第3回「農水産業支援技術展」沖縄が開催されました(主催・同実行委員会)。

本技術展は、県内外のメーカー、販売業者、研究機関などが農水産業の6次産業化及び輸出促進などに関連する機器や技術などを展示するとともに、有識者による31のセミナーを通じて最新の情報を広く紹介する内容となっており、会場は自社製品などの営業PR・マーケティングを行う出展者や最新の製品・技術・情報を収集するために訪れた農・漁業者、食品加工製造業者、流通業者などで大いに賑わいました。

また、沖縄総合事務局は、6次産



▲来場者で賑わう会場



▲開発商品紹介コーナー

業化に関する支援策や県内の取組事例を紹介するコーナーを設けるとともに、実際に6次産業化に取り組んだ事業者が開発した商品を紹介するコーナーを設置し、県内外の参加者に向けて広くPRを行いました。



▲セミナーの様子

沖縄における6次産業化の 推進及び農林水産物・食品の 輸出に向けた取組

本技術展では、沖縄総合事務局遠藤農林水産部長による基調講演が行われました。

基調講演では、地域の農林水産業の振興と活性化を図るためには、一次産業(農林漁業)と、二次産業(製造業)、三次産業(小売業等)の総合的かつ一体的な取組により地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す6次産業化の取組が重要であることについて説明するとともに、他都道府県に比べ、沖縄では6次産業化の取組が多いことを紹介しました。

また、クルーズ船の増加に伴う国内外からの入域客数の増加、県内の好調な景気状況といった近年の沖縄の地域経済の動向に加え、沖縄の亜

熱帯性気候などの地域特性を活かして生産された農林水産物、サンゴ礁が広がる青い海など、魅力ある地域資源が豊富に存在する現況を説明しました。

さらに、これら豊富な地域資源を活用した6次産業化や観光との連携により、インバウンドを含めた国内外の入域観光客向けに、沖縄の食文化の体験を通して得られる農林水産物・食品の魅力の世界に広くアピールするチャンスを活かして輸出へつなげていくことが重要である旨を説明しました。

結びには、沖縄総合事務局として、引き続き6次産業化の推進と併せたインバウンド需要の取り込みと、地理的優位性を活かした農林水産物・食品の輸出に向けた取組の推進に力を入れていきたいと抱負を述べました。



▲遠藤部長による基調講演

農林水産部食料産業課

☎098-866-1673